

## ナマステ通信

### INDEX



#### 自己紹介

こんなことをしています



#### ネパールの紹介

ネパールの民族について



#### ネパールで見つけた秋田

ネパールは秋田が  
たくさん!!

# 秋田へ!! ナマステ通信



ネパール第2の都市であるポカラから見えるマチャプチュレ(6,993m)

## 自己紹介

秋田のみなさん、ナマステ! 2016年1月からネパールに青年海外協力隊として派遣されています齋藤小夜里(さいとうさより)です。

現在、ネパールのカブレプランチョーク郡土壌保全事務所で、コミュニティ開発という分野で仕事をしています。具体的には、国際協力機構(JICA)が過去にネパールで実施していた技術協力プロジェ

### ～経歴～

1988年生まれ。

小2より母の故郷である秋田県へ引越し。高校卒業まで大館市、能代市周辺で過ごす。大阪で大学生活を終えた後、秋田に戻り社会人6年目となりました^^

クトの中で開発されたSABIHAA（サビハ）と呼ばれる事業モデルのフォローアップを行っています。同プロジェクトは、住民が主体となって自然資源管理と収入向上といったコミュニティ開発活動を行っていくことを目的としています。

## ネパールってこんなところ！

ネパールは、南はインド、北は中国という大国に挟まれた小さな国です。公用語は、ネパール語。人口は、約2,700万人。人口の八割は山間部に住むといわれています。ネパールは、ヒマラヤのエベレストで有名ですが、南は平野、中央より北はヒマラヤに向かって山岳地帯、丘陵地帯となっています。宗教はヒンズー教です。仏教との関係性が深いため、日本人にとって親しみの持てる宗教だと感じています。

そんなネパールでおもしろいことの1つは、多くの民族が共存しているということです。ネパールという小さな国の中に、なんと100以上もの民族が存在しているといえます。

主な民族は、西部にグルン、マガル、東中央山陵地帯にライ、リンブー、高地に暮らすシェルパ、マナン、カトマンズ盆地に暮らすネワール、各地域にはブラーマン、チェットリなどが住んでいます。言葉や文化はもちろんのこと、中国からきたモンゴリアン系やインドからきたアーリヤ系など身体的特徴にも差があります。そういった違いを乗り越え、ネパール人は互いを尊重しながら生活しています。

ネパールで生活していると、ネパール人なのに、まるで日本人のような顔つきの人によく出くわします。ネパール人からは逆に私たちはネパール人に間違えられたり、「君は〇〇族っぽい顔だね！」と言われることもしょっちゅうです。ちなみに私は、山間部に住む「タマン族」「ライ族」っぽいと言われます。

私の行くフィールドでは、タマン族が多く、タマン族の前で「私はニサ・タマン（ニサ＝ネパール語での私の名前、タマン＝タマン族の苗字）です」と自己紹介をし始めると、顔はタマンなのに拙いネパール語を話すので、非常にウケます。もはやネタとして多用中です！

日本人であってもネパール人とどこか似ているからか（同じアジア人だからでしょうか？）、ここで生活していても「外国人」という違和感、疎外感を感じることなく、生活できています。たくさんの民族が共存するネパールのピースフルで穏やかな雰囲気をぜひみなさんにも感じてもらいたいです！

## ネパールで 見つけた秋田！



早いもので、ネパールに来て半年が経ちました。この半年の間に秋田に関わる・関わったたくさんのネパール人に会うことができたんです。

秋田の医療機関や農家等で技術を学び、その後ネパールで技術を活かし、母国でご活躍されている方々、また、秋田で味噌作りを学びネパールで秋田風の味噌を売っている方もおられます。

遠く離れたネパールで、まさかこんなにも秋田を知っているネパール人がいらっしやるとは驚きでした！